

平成26年度第4回（7月）理事会 議事録

開催日時 平成26年7月13日（日） 午後1:00～4:35
場 所 兵庫県民会館 7階 亀の間
出席者 山田理事長、長・中島副理事長 (代理)[遅参]
氏家・中村・牛塚・荒西・田井・[南平]・清水・高橋・植木各学識経験者理事
(佐藤)・小玉・中島・(徳見)・佐伯・阿部・中村・西脇・讃岐各地区選出理事
参席者 [大庫監事]、森地県連コミッショナー、中村・家門・糟谷・原田・藤尾県連副コミッショナー
事務局 南事務局長、能登事務局次長、石橋・植田事務局職員
欠席者 池田学識経験者理事・安積地区選出理事、三木監事
議 事

1. 開会式

国旗儀礼

スカウトサイン

理事長あいさつ

副連盟長あいさつ

加盟員の物故者に黙とう

司会)事務局長

〃

家門副コミ

山田理事長

日下副連盟長

司会

2. 議長の指名

理事長の指名により中島副理事長が議長を務めることになった。

3. 会議成立宣言

事務局長から本日の出席状況を報告し、理事定数23名、出席理事18名、委任1名で定足数を満たしていることから理事会が成立していることの報告があった。(代理2名、遅参1名、欠席1名)

4. 議事録署名人の指名

議長から議事録署名人として、佐伯 政裕(地区選出理事)、清水 秀彦(学識経験者理事)を指名、出席理事全員が承認し、両名も受諾した。

5. 議題

(1) 承認事項

① 「海外派遣」計画の承認を求める件

☑主旨説明

荒西国際委員長から西宮2団が韓国のフレンドシップサマーキャンプへ参加するため海外派遣計画申請書が届いた旨の説明と参加スカウトにカブスカウトが参加する予定であることから、派遣計画についての審議依頼の説明がされた。

なお、申請地区の阪神さくら地区委員長の中島地区選出理事より地区委員会での説明内容について紹介がされた。引率指導者5名(保護者を含めて7名の参加)と参加スカウト6名の参加を予定している。

☑質問・意見

- ・派遣であれば国際紹介状の発給が必要ではないか。
- ・指導者は派遣扱いとする。ただし、スカウトは規程上、中学2年生以上で1級以上でないと海外派遣扱いにならない。

- ・個人の海外旅行の扱いをしてはどうか。
- ・行動期間中の責任は保護者なのか団なのか?等の問題があるので明確にしておく方が
良いのではないかとと思われる。

採決

- ・県連理事会としては、県連盟コミッショナーの見解を得て、理事会で議論の結果、カ
ブスカウトの海外派遣は認めないことで不承認とした。

(2) 協議事項

①. 23WSJ 参加者の申込み状況と HoHo の対応について

主旨説明

清水 23WSJ 実行委員長から配布資料に添って説明を行った。

参加スカウトは 207 名、隊指導者 13 名(11 名不足)、IST 49 名、分団 1 名 計:270 名
の申込み状況でした。各団別の参加人数を一覧表で示したが、二次募集に向けて各団 1
名の参加が出来るように追加募集をお願いしたい。

一次募集の結果、派遣隊の編成は配布資料「分団 派遣隊編成」で示した通り 6 個隊の
編成となった。しかし、隊指導者が不足していることから、隊編成になっていないので
早急に各地区で指導者の推薦をお願いしたい。このままでは、スカウトの派遣ができな
いことになるので、IST 申込み者からの変更や追加申込み等での推薦を強力にお願いし
たいと依頼がされた。

また、サブキャンプ及びハブのチーフ及びスタッフの追加もあるので応募をお願いした
い。派遣団提供プログラムとしては 16NJ でも実施した GDV(防災対策)、カルチャー(姫
路城について)、サイエンス(太陽光発電)を行うことにした。分団スタッフについては
兵庫からもう一人お願いしたい。

HoHo の割り当て検討案について、荒西国際委員長が配布資料に基づき 600 名全てを
加盟員で受け入れた場合は全加盟団で 2~4 家庭(4~8 名)の受け入れが必要となること。
加盟員以外の協力が得られた場合は全加盟団で 1~2 家庭(2~4 名)の受け入れとなるこ
とから、スカウト(カブ・ボーイ・ベンチャー)がいる家庭をターゲットに国際交流を目
的に HoHo の協力依頼を進めて頂けるよう各地区の対応について意見交換をお願いした。

質問・意見

- ・派遣隊は 6 個隊だけか? →今後二次募集もあるので増やす余地はある。
→年齢未達(学年 OK)スカウトでの増員の要素はある。
- ・参加者が増えた時の隊編成はどうするのか?
→増えた時は、隊を分封することで考えている。
- ・指導者の不足はどう対処するのか?→今すぐにでも追加募集をかける必要がある。
- ・副長の参加費はいくらか?→参加指導者の交替参加は決定していない。連絡があり次
第に各地区へご案内する。
- ・リーダーが集まらなければ参加隊はどうなるのか
→現時点で日連から内定が出ていないから拙速な指導をス
カウトにしないことをお願いしたい。
→指導者が集まらなければ参加隊は解散となる。
- ・HoHo について、各地区のボーイ関係者でどれだけ受け入れ可能なのか?
→尼崎 苦慮している
→阪神北 団割して要請している段階

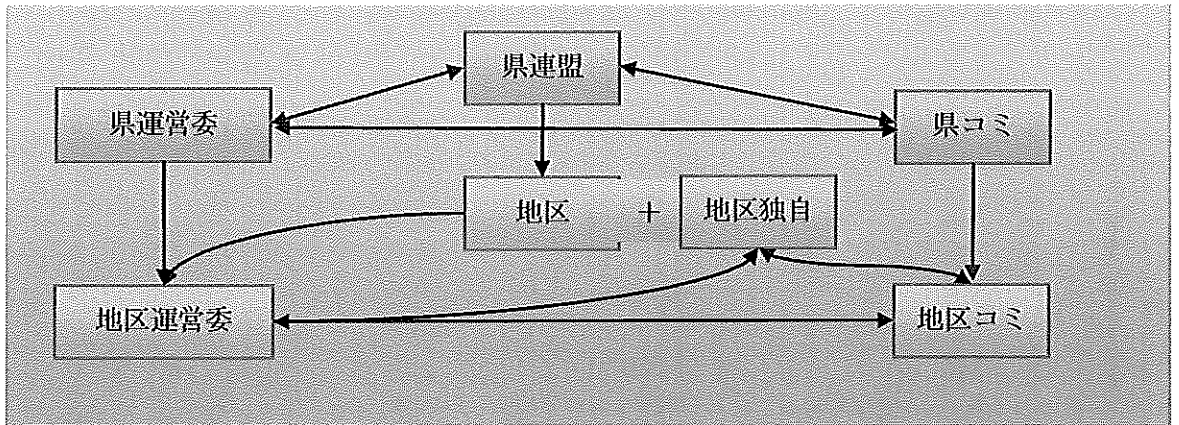
- 阪神さくら 120名受け入れします
- 神戸 現在13家庭/27名分の確保ができた
- 神戸垂水 発表できる段階にない
- はりま 80名えらいこっちゃ、どこの国が来るの
- 姫路 40名なんとかしたい
- 西播 40名確保を目指す。資金集めも始めた。

②. コミッショナーと地区及び運営委員会との関係について

☑主旨説明

山田理事長から今年度の活動方針に掲げた第1にコミッショナー活動との連携および支援について、地区での委員会前での三者での打合せが出来ているか等について取組について議論して頂ければと思います。これからの議論の進め方については、森地県連盟コミッショナーをお願いします。

森地県連盟コミッショナーから地区コミッショナー会議にて各地区から方針を出して頂きました要約を纏めさせて頂きましたので、地区コミッショナーの方針をどのようにバックアップしているかの発表をお願いします。



- 姫路 アクションポイントを利用して団担当コミッショナーを活用し、アクションポイント委員を設立して支援している。
- はりま 16個団を4グループに編成してグループ毎に発表～進行を担当したラウンドテーブルを開催している。第1回は明石で開催して準備から当日まで担当しています。このように事前の打合せや資料作り等を行って活性化に取り組んでいます。
- 淡路 地区協議会長以下18名の役員がいるが5名だけが名前だけでも良いということで名前を連ねている。地区からの連絡事項は、各隊長宛に送っている。
- 神戸垂水 元気のある楽しいスカウト活動をテーマに月1回ラウンドテーブルを開催して指導者のスキルアップに努めている。指導者が長年続けているとマンネリが出てくる。定年制の意見が出てきているが定年制には否定的に考えている。個々に努力することが重要と考えている。
- 神戸 今年から地区コミッショナーが交代した。4名の団担当コミッショナーで24ヶ団を担当する。
- 阪神さくら コミッショナーの方針で事業を遂行する。その支援に地区が当たることとしている。
- 阪神北 コミッショナーは地区内すべての状況を把握することになっている。

- 尼崎 コミッショナーの重点目標に向けて推進している。
- 西播 地区の運営委員会としては機能していません。

地区委員長は、班長役として地区委員会をコーディネートして頂く非常に重要な立場にいると思いますので、三役で共通認識をもって取り組んで頂きたいと思います。

以上の各地区からの発表を受けて常設委員長からの寸評があればお願いします。

- 組織拡充 連携が図れていると認識している。
- スカウト委員長 やる作業が明確になっていない委員会でありコミと連携が重要
- 指導者委員長 地区での指導者養成事業を計画しているのは3～4地区のみでありRTと区別がつかない状況である。
- 国際委員長 地区での委員会は半分くらいしか開催が出来ていないようだ。
- ユース委員長 地区の報告の時間を今年は深く聞いている。地区ユースの活動は出来ていないようである。県内のユースに参加をして頂きたいユースキャンプを11月に予定している。
- 財務委員長 県と地区では立場の違う委員会であると認識している。地区としては資金確保の検討が必要など多いようです。県で話し合われた内容を地区へ情報伝達させて頂いている。振興会の維持費増額については地区の支援により70%の確保が出来て日本連盟に送付して割当額を確保できたが30%の方への啓蒙が今後の課題。

- ☑質問・意見 地区と地区コミッショナーの役割分担が上手く機能するように支援をバックアップして頂きたいと思います。意外と地区コミッショナーが一人で誰にも聞けず悩んでいることがあるようですので、地区委員長からも支援をお願いしたい。
組織の充実と団機能の活性化は、それぞれの役を持っている人が何をやるかを考えることであるし、長になっている方が引っ張って頂きたいと思います。

(3) 連絡(依頼)事項

①. コミッショナー及び各常設委員会・特別委員会からの連絡・依頼事項について

(7) 団委員長インダバの開催について

8月30日～8月31日 13:00～13:00 参加費@4,000円と交通費@2,000円までを自己負担で参加できるのでご案内をお願いしたい。

地区で7月25日までに取りまとめ、県連には28日までに申込み下さい。

②. 事務局からの連絡・依頼事項について

(7) 制服のモニタリングと割当について

配布資料のとおり各地区内の隊又は地区窓口へ送付しましたが、キャップ類とトレーナーが未着のため、全てのモニター用品の到着はしばらく待ってください。

8月中のモニターで9月5日までに報告書の提出を県連事務局までお願いします。

(4) フィルタリング普及啓発街頭PRイベントへの協力依頼について

青少年本部からの要請により毎年実施している街頭PRイベントに神戸市内のスカウト及び指導者での協力をお願いしたい。

(ウ) 「青少年スマホサミット in ひょうご」事前アンケートの依頼について

- ・ワッペンデザインの公募を行いますので応募をお願いします。
- ・会場は三田にある県立有馬富士公園とし、日程は平成 27 年 4 月 29 日とする。
- ・新三田駅から徒歩で 1 時間 30 分かかるため、シャトルバス等を検討している。
- ・前日設営が出来ないので現地の状況に合わせた設営を予定している。

(イ) 23WSJ 実行委員会

- ・IST から隊指導者にコンバートを依頼するかもしれない。
- ・ホームステイに関して日連 HP に情報が掲載されているよく見てほしい。
→ホストファミリーの母親が奔走するのではなくスカウトにも出来ることがある。
- ・23WSJ 専用ホームページを立ち上げる予定です。情報掲載しますのご利用ください。

(ウ) ベンチャー特別委員会

- ・6/28 に HHAC2014 の中止を決定した。次回の HHAC2016 に向けて反省評価したい。
- ・県連ベンチャースカウトフォーラム開催の案内を配布資料で説明した。

(エ) 危機管理検討委員会

- ・委員長の見解も含めて議論の経緯と今後の取組について配布資料を基に説明した。
- ・第 3 回は、団委員長インダバ終了後に開催の予定
(各委員・出席者による事例持ち寄りと研究)
- ・事例:石巻市立大川小学校の事例でワークショップを行いたい。

⑩. 事務局からの報告事項

(ア) 近畿ブロック会議の報告について

和歌山連盟から応援要請があり、全国大会記念シート 50 枚発注したのに 500 枚届いたことから近畿ブロック会議にて協力依頼があった。希望者は申し込み願います。

(イ) アウトドアチャレンジ事務局がボーイスカウト日本連盟から協議会事務局に移管されました。各地区でアウトドアチャレンジを開催する場合には、直接にお問い合わせください。

(ウ) 各地区へは、県連トレーナーの募集案内を配布しておりますので 8 月末までに推薦をお願いします。

(エ) 事務局・スカウト用品の業務休業について配布資料でご確認をお願いします。

(5) その他

6. 閉会セレモニー

理事長あいさつ

副連盟長あいさつ

(S) 光の道

スカウトサイン

国旗儀礼

司会:事務局長

山田理事長

山田副連盟長

家門副コミ

//

司会

以上

平成 26 年 7 月 29 日

議長

中島佳一



議事録署名人

佐伯政裕



議事録署名人

清水秀彦

